



碧南ロータリークラブ週報

第2254回例会 平成17年2月2日(水) 曇. 最高3.1℃. 最低-3.1℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

2004~2005年度
国際ロータリーのテーマ



● 斉 唱

- 国 歌 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」

● 四つのテストの唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

- UFJ 碧南法人営業部長兼支店長 上野 秀城 様
- 刈谷RC 神谷 光義 君



池田弘孝会長



岡田会長エレクトと本日のお客様 上野秀城様

会 長 挨拶

今月は世界理解月間であります。国際理解、交流及び平和に対するロータリーの熱意を強調する活動を実施するとされています。その一番目は RI 国際大会への出席を推進するということがありますので、今年度シカゴへの参加をよろしくお願い申し上げます。

日本は、60年平和が続いています、有り難いことです。1972年（昭和47年2月2日）33年前の今日グアム島で、漁民に発見され救出された横井庄一元陸軍伍長が、日航臨時便で31年ぶりに日本に帰国した日であります。記者会見で「恥ずかしながら生きて帰ってまいりました」の第一声に、戦後の繁栄にうつつをぬかしている日本人への痛烈な皮肉ともとれますが、日本軍人の気骨を感じました。

横井さんは戦争当時、第29師団に配属され食糧弾薬を運搬する部隊にいました。昭和19年、米軍がグアム島に上陸してきました。圧倒的な米軍の兵器の前に日本軍は敗走。戦闘時2万人いた兵士はすでに3000人となり戦闘継続は困難な状況でありました。投降を呼びかける米軍に、当時の指揮官である佐藤少佐はこれを受け入れました。しかし、不幸であったのは、横井さんの部隊は佐藤少佐の直接の指揮下でなかったため、投降命令が伝わっていませんでした。横井さんは2人の部下と共にジャングルの奥深く潜んでいました。捕虜の汚名を受けたくない一心と、島民に対する警戒、アメリカ軍の攻撃からのがれること、一番恐れたのは日本の軍法会議で処刑されるんじゃないかということだったそうです。「敵前逃亡は銃殺」ということは、我々も子供でしたが聞かされていました言葉です。

日本に帰国した横井さんは340万7,404人目の復員者でありました。奇しくもその年の5月、沖縄本土復帰を迎えるという時でした。平和に対する熱意の1つに大東亜戦争を忘れないことだと思っている一人です。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更につきましては、お手元の資料でご確認いただきたいと思います。
- ・加藤年度で副会長をされ、また長い間会計を担当されました三島 正様が1月27日付けにて退会をされましたので、ご報告をいたします。
- ・第27代（1985～1986）会長の 浅井英雄様
第29代（1987～1988）会長の 鈴木 昇様のお二人がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78 名（内出席免除者 14 名）出席者 67 名	
出席対象者 51/64名	出席率 87.50%
欠席者11名(病欠者0名)	前々回修正出席率 98.46%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

上野 秀城様 本日、卓話をさせていただきます。

(刈谷RC)

神谷 光義君 碧南クラブの皆さんお元気ですか。本日はメーカーキャップでお世話になります。
三嶋 正様 日頃は「けんしん」をお引き立て下さいましてありがとうございます。先月末をもって退会しました。

「けんしん」の堀田引き継ぎ予定会員をよろしく願います。

会員の皆様のご健勝とご発展を祈念いたします。ありがとうございます。

服部 一彦君 本日の卓話の上野秀城さんをご紹介します。

杉浦 勝典君 愛知県の「ブランド」としてマルスギ(株)が認証され、1月31日に神田知事より直接手渡しされ、感謝しています。これから愛知県のブランドとして責任を持って努力します。ありがとうございます。

早退3件 合計29,000円

〈親睦活動委員会〉

2月会員誕生日

4日 杉浦 昌裕君	5日 新美 雅浩君	5日 森田 雅也君
9日 石川八郎右衛門君	16日 平岩 辰之君	18日 植松 敏樹君
25日 杉浦 昇一君	26日 伊藤 正幸君	

1月奥様誕生日

1日 中根 佑治君の奥様	澄恵様
5日 新美 雅浩君の奥様	美由紀様
15日 新美 惣英君の奥様	直美様
20日 石橋 嘉彦君の奥様	里美様
21日 粟津 良一君の奥様	千恵子様

1月結婚記念日

11日 平岩統一郎君・和恵様	27年
11日 新美 宗和君・雅代様	25年（銀婚）



新美宗和君銀婚式記念品贈呈

28日 長田 銑司君・美代子様 42年
1月入会記念日
4日 那波 宏志君

卓 話

「グローバル銀行の誕生と地域経済への貢献について」 UFJ銀行碧南法人営業部長兼支店長 上野 秀城氏

こんにちは。「グローバル銀行の誕生と地域経済への貢献について」ということで、お手元に配らせて頂きました資料を基にご説明させていただきます。

株式会社三菱東京フィナンシャル・グループ（取締役社長 畔柳信雄）と株式会社UFJホールディングス（取締役社長 玉越良介）は、経営統合に関する基本方針を策定いたしました。

グローバルな競争を勝ち抜く「世界屈指の総合金融グループ」を新たに創造し、お客様に最高水準の商品・サービスをご提供していくと同時に、「平成20年度までにグローバルな金融機関の時価総額ランキングでトップ5入りする」ことを目指します。



I. 到達目標（アスピレーション）

1. 「グローバルトップ5」

「平成20年度までにグローバルな金融機関の時価総合ランキングでトップ5入りする」ことを目指します。

2. 「グローバルトップ5」への潜在力 ～5つの競争優位性新しく誕生するグループは、普通銀行・信託銀行・証券会社に加え、トップクラスのカード会社や消費者金融会社、投信会社、リース会社、外国銀行（UBOC）などが集結した本邦初の本格的な総合金融グループとなります。新グループの名前としましては、「三菱東京UFJ銀行」となる予定でございます。

(1) 邦銀随一の圧倒的なグローバルネットワークとプレゼンス

★新グループは、充実した国内ネットワークに加え、世界40カ国以上をカバーする邦銀No.1のグローバルネットワークと各国のビジネスに精通した豊富な人材を有しており世界に展開するお客様の多様な金融ニーズに的確にお応えします。

★企業のお客様はもちろん、個人のお客様にもUBOC、マニユライフグループ等のグローバルネットワークを生かし、日本に居ながらにして世界最高水準の商品・サービスをご提供します。

(2) 個人預金をはじめ抜きん出た取引基盤と極めて厚い顧客ベース

★信頼と信用力が反映される個人預金残高（約60兆円：平成15年度末単位国内店合算ベース）は群を抜いた規模となり、成長著しいリテール分野での収益増強のための大きな財産となります。また、法人業務分野においても、新グループの持つ最大で強固な顧客基盤は、信託業務や投資銀行業務を積極的に展開していくための重要な資産となります。

★圧倒的な顧客基盤に、グループ一体となって幅広い金融商品・サービスをご提供することにより、新グループの収益力・競争力を飛躍的に向上させます。

(3) 群を抜く財務・資本基盤

★新グループの自己資本は、公的資金・繰延税金資産への依存度が他グループよりも低く、強固な資本基盤を確保します。統合後は公的資金をいち早く返済し、経営自由度の早期回復を図ることによって、成長戦略を積極的に推進していく方針です。

★三菱東京フィナンシャル・グループは、これまで他グループに先駆けて不良債権の大幅な削

減を達成してきましたが、新グループでもそのテンションを緩めることなく財務の健全化を促進します。

★新グループは、強固な財務・資本基盤を梃子に、果敢にリスクテイクを行い、前向きな業務推進に経営資源を投入して高い利益水準を実現し、質の高い資本を積み上げていきます。

(4) 極めて高い相互補完関係

★両グループは、事業基盤や内外ネットワークの点で極めて高い相互補完関係にあり、また、重複解消による顧客基盤・取引基盤縮小の影響も小さいことから、最良かつ最適の組み合わせになります。この相互補完関係を最大限に活用することによって、さらに顧客基盤や取引基盤を拡充し、シナジー効果を実現していきます。

★新グループ人は、首都圏・中部圏・関西圏を中心に店舗ネットワークをバランス良く展開し、メガバンクで最高の利便性をご提供します。

★銀行・信託・証券をはじめグループ各社が提供する機能面での補完関係も大きく、お客様に多様なサービスをご提供できます。

(5) ニューヨーク上場企業に相応しい強固なガバナンスと信頼の経営

★新グループは、メガバンク唯一のニューヨーク証券取引所上場企業として、米国企業改革法への対応や内部統制の強化などを実施していきます。グローバルトッププレイヤーに相応しい強固なガバナンス体制を構築し、公明正大で透明性の高い経営を実現していきます。

★企業の社会的責任経営（CSR）を常に意識し、持続的な成長を確保していける体制を整備します。

II. 事業運営体制

新グループでは、その強みを最大限に生かすため、以下の事業体制を構築していきます。

◎地域密着型の業務運営体制の導入

★新グループでは、地域に密着した業務運営を行い、それぞれの地域のお客様のニーズにしっかりとお応えしていくため、商業銀行において、東日本地区、中部地区、西日本地区ごとにリテール業務、法人業務それぞれに業務推進責任を負う担当役員を配置するほか、サービス提供機能や審査機能も各地域に備え、地域特性を重視した機動的な金融サービスの提供に努めてまいります。

★本部・重複拠点・重複業務のスリム化、業務プロセス等の見直しにより経営資源を効率化するとともに、中小企業取引や投資銀行業務・証券業務等の戦略業務分野に重点投入します。その結果として「収益力の増強」と「コスト削減」による経営統合効果を最大限に発揮していきます。

III. 統合効果・経営効率の向上

圧倒的に優位性のある補完関係を生かし、スピード重視で統合効果を極大化します。また、10月の統合を待たずに、さまざまな分野において両グループ間の業務提携を行い、統合効果を前倒しで実現します。

★国内外の店舗網の見直し、人員や事務・システムの効率化など、両グループの統合によりグループ全体で年間2,000～2,500億円の大きな合理化効果の実現を目指します。

(1) 新チャネルの展開

★お客様の利便性の更なる向上のため、リテールチャネルにおいては「UFJ24」を新グループで発展的に展開するほか、コンビニATM、ダイレクトバンキングの一層の機能充実を図ります。加えて、相談特化型店舗やPlus型店舗を出店し、お客様の多様なニーズに的確・

迅速にお応えできる肌目細かいリテールネットワークを構築してまいります。

- ★法人拠点では、大企業集積度の高い地域に大企業取引を専門に担う拠点の設置を検討するとともに、中小企業取引専門拠点を未出店地域に増設し、中小企業取引を強力に推進するための稠密ネットワークの整備を検討してまいります。
- ★効率化の観点から、ごく近接した重複店舗を対象に店舗統廃合を実施していきます。地域的には中部圏ではほとんど重複はなく、首都圏等を中心に店舗統廃合を進める計画であります。以上でご説明を終わらせていただきますが、今後とも地域密着型で、皆様のニーズに迅速にお応えできるようがんばりますので、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

次回例会案内 平成17年 2月16日（水）

卓話「振り込め詐欺の対処法」 碧南警察署生活安全課長 警部 岩田 和彦氏